



TMOとはT (Town タウン) M (Management マネージメント) O (Organization オーガニゼーション)の略で、中心市街地全体を一体的に管理・運営する機能として、上越商工会議所の中に組織がされています。上越TMOの区域は、高田地区商店街、直江津地区商店街ですが、単に商店街の活性化のみならず地域の文化・歴史・風土などを活かした魅力あるまちづくりをめざして活動を進めています。

上越TMOだより NO.5 2007.3.10

<http://www.jocci.jp/>

上越TMO (上越商工会議所)

〒943-8502 新潟県上越市新光町 1-10-20

TEL.025-525-1185 FAX.025-522-0171

新潟県鉄道発祥の地

「直江津～関山」間 鉄道開通120周年記念イベント開催

～40年ぶりに「直江津駅～新井駅」間を運行～



新潟県で最初の鉄道となる「直江津～関山」間が開通して、昨年8月15日に120周年を迎えました。120周年を記念し10月14日(土)と15日(日)に「長岡駅～新井駅」間をSL信越線120周年号が運行され「直江津駅～新井駅」間を40年ぶりにSLが走りました。上越・妙高両市の関係団体で実行委員会を設け『新潟県鉄道発祥の地「直江津～関山」間鉄道開通120周年記念イベント』を通して、新潟県鉄道

発祥の地としての歴史と魅力を両市民を始め内外の多くの人達に再認識していただくことを目的に両市の地域物産並びに観光資源の周知・魅力発信に繋げていくことが出来ました。

イベント初日には、120周年を記念して作製されたSLの動輪をモチーフとしたメモリアルモノユメントの除幕式も執り行いました。メモリアルモノユメントの設置場所は市内外の住民に歴史ある証しとして広く周知出来る場所となる直江津駅自由通路の壁面に設置してありますのでご覧下さいと思います。

イベント両日は天候にも恵まれ、秋深まる上越の景観をバックに40年ぶりに「直江津駅～新井駅」間を走るSLの雄姿を撮影しよう、と沿線のポイントには大勢のカメラマンが帯をなしていました。

両日の主なイベントとしては、直江津駅北口広場では

市民芸術団体アトラクション披露、自由通路では物産品販売等、南口広場ではゲームコーナー、緊急車両展示、直江津駅前通りではミニSL運行など多彩な催し物が行われ、商店街では、雁木下・店舗内・空店舗を利用し、市民アーテイスが作品を展示・販売する「第6回アート商展街in直江の津」なども開催されました。

高田駅では、大町小・大手町小・東本町小・高田西小の4校児童の鉄道に関する絵が展示されたほか、花ロードに参加したひがし幼稚園や上越総合技術高校の作品が展示され、市民の目を楽しませるなど各会場共親子連れで終日賑わい、鉄道発祥の街を楽しんでいました。



第6回 アート商展街 in 直江の津 ～アート作品がつむぎだすつながり～

平成18年10月14・15日



今回も直江津駅を中心とした「直江津」関山間信越線開通120周年記念イベント」と同時開催で行なったアート商展街。6回目を迎えた今回、よりイベントの趣旨が伝わるタイトルをと考え、『アート商展街』から『アート商展街』に名称を変更しました。

市民アーティストが、日頃の成果をまちなかの雁木



下や空店舗、店舗内で発表・販売する場として、市民の方々に認知されてきたアート商展街。直江津中学校がオリジナルプリントTシャツやミサンガを出展したほか、出展者の範囲も広がりが、魚沼市や長岡市、新潟市など遠くからもご参加いただくようになりました。

今回60グループが出展し、バラエティに富んだ作品のお店が集まりました。

作品を通して、来場された市民の方と出展者とが会話を楽しむ姿が、街にあふれていました。

また、のぼり旗を新調し、まちなかに音楽を流したほか、恒例の直江津クイズを

実施するなどイベントをいろいろな方向から盛り上げました。

今回から、出展者交流会をイベント後に開き出展者同士が交流を深め、新たな友達を見つけていました。

更に、市民の方々が選ぶコンクールの表彰式を行ない、受賞者は来年の励みになったと喜んでいました。

いろいろな楽しみが見つかる『アート商展街』は、皆さんの手で作り上げる市民参加型のイベントとして、どんどんスケールアップしていきます。



第7回アート商展街in直江の津 (平成19年10月中旬開催予定)

出展者募集!

あなたの手作り作品をまちなかで販売しながら交流を楽しみませんか? 詳しくは事務局まで。TEL 525-1185

直江津地区 中心市街地 活性化事業 検討会

上越市中心市街地基本計画の改定に伴い、地元住民や商店主、若手商人などが集まり直江津地区まちづくり戦略プランを基に、ワークショップで検討しています。直江津が本当に住みよい街になるためにはどうすればいいのか? を真剣に検討しています。

アイデアがございましたら上越商工会議所までお寄せください。

直江津まちなかイベント

～年間を通してまちなかでイベント開催～

平成18年4月～19年1月

デン(直江津中央商店街 8月12日)

三八市の通りがこの日は花市でにぎわいます。伝統の花市をライトアップして、夕暮れ～夜に來られる方々を、くじら汁や焼き鳥などでおもてなしいたしました。

○街路イルミネーション (直江津中央商店街12月1月)

中央商店街の中央に一目立つイルミネーション。年々豪華になっていく光のオブジェは、行き交う人々の目を楽しませていました。

○互の市(直江津駅前商店街4月・12月)

今年で4年目となりました。毎月0と5のつく

日に、新鮮野菜や特産品を販売しています。特設小屋も色を塗り替え、昔の町並み風になりました。開店前から、井戸端会議をしている光景は、いつもの風景。になりつつあります。出店数を増やし、地域の皆さまに楽しんでいただけるよう取り組んでいきます。



互の市出店者募集!

毎月0と5のつく日に直江津駅前商店街で開催している互の市では、農水産物を販売していただけの方を募集しています。販売は特設の可愛い小屋の中で。くわしくは上越TMO事務局まで。TEL 525-1185

○海の路なおえつゝ楽市 &夕遊市(直江津まちなか市座(直江津駅前)8月18日)

夏の夜に商店街で家族の思い出を作ることをコンセプトに毎年駅前若手商店主の有志が開催しています。(株丸互の協賛で、親子木工教室も開催し、イベント名物のシーフードカレーと共に好評をいただきました。



○府中八幡安国寺秋祭り
&協賛セイル(西部商店街9月11・16日、神楽奉納15・17日)

伝統の神楽奉納に併せ、協賛セイルと抽選会を開催しました。抽選会当日は緑日も開催し、親子連れが秋の夜長を楽しむ姿が多く見られました。

共同
イベント

本町3・4・5丁目商店街

～四季の彩り バラエティあふれる風物詩～



七夕まつりイベント (本町)

年間を通じて、季節の特色を活かした7つのイベントを企画して、商店街を楽しめる空間として演出しています。

■観桜会協賛イベント：お花見の時期にあわせて、開幕パレードに始まり、春の茶会・夕市桜の写真展・本町家宝展・雪折れ桜の飾り付けなど各種イベントを開催し、本町商店街と花見会場との回遊を図りました。

■七夕まつり：幼・保育園児に願いごとを短冊に書いてもらい、七夕飾りと共に、アーケードに展示しました。あわせて子ども向けのミニイベントを開催しました。

■はすまつり協賛イベント：高田公園（城跡）のお堀に咲く、東洋一と言われる蓮の花を観賞するイベントに併せて、県内外からの観光客にマップを配布し、玄関口であるJR高田駅に近い本町商店街のお土産・お食事処へ誘導しました。

■越後・謙信SAKEまつり協賛イベント：本町商店街で開催される初のイベントに後援し、プレミアムクーポン券の発行や「日本酒ラベルラリー」「鍋まつり」などを実施し、来街者に楽しいひとときを過ごしてもらい、大盛況のうちに幕を閉じました。

■クリスマスイベント：商店街を参加型の創作イルミネーションで飾り付けるとともに、年末商戦向けのチラシを配布、各店で独自のセールを行い、集客を図りました。

クリスマスイルミネーション (本町)



～まちの歴史遺産から まちの魅力を再発見～

平成18年
10月8日

景観劇場

高田の歴史的建造物を活かしてまちの活性化につなげようという目的で、高田の歴史遺産からまちの魅力を再発見する「景観劇場」が、平成18年10月8日に上越TMOが主体と

なりスタートしたのですが、今では地元である本町6丁目町内会と白鳥上越後援会が主体となり自らの力で取り組んでいるまちづくり活動で、すっかりお馴染みのものとなりました。

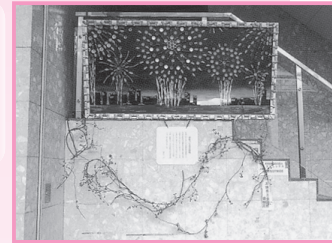
今回は、テレビでも人気の落語会のプリンスこと林家いっ平さんと、平成17年度文化庁芸術祭新人賞の柳家はん治さん、そして地元本町出身の落語家・三遊亭白鳥さんの3人がそれぞれ落語を披露し、大入り満員の会場を笑いの渦に巻き込んでいきました。

上越市では、高田の歴史的建造物をまちの新たな魅力として位置づけ、このような市民の活動と行政の取り組みの連携と協働でこれからのまちづくりを進めていく考えです。

城下町高田 花ロード
～城下町に咲く、創作の花 ぶらりと散策、夢小道～

グランプリ 平丸 陽子

すすきを丸くする時に、乾燥したままだとボキボキとおれてしまったので、丸くする前に大きな鍋ですすきを少し茹でて柔らかくしてから丸くしていきました。最後に、ここには鈴の音がきこえたといい、すすきに鈴をいくつかつけてみました。

上越市長賞
大手町小学校 3年生

「ゆめいっぱいフラワーカーニバル」をテーマに、世界で一つだけの鉢と毎日、大切にしている花。みんなで創った秋の木。そして、一人ひとりの「ゆめ」を添えて出展しました。ゆめ学年のゆめが、みんながないますように。

上越商工会議所会頭賞
上越飲食同業組合

長岡復興の花火フェニックス、力強く立ち上がった人々を観て、仲町にも活気を取り戻そうと皆で集めたキャップに色を塗り、ひとつひとつ願いを込めながらキャンパスに貼りました。大空に打ち上がった花火のように、パアッと前進したい!!

2006年10月7日～9日
高田中心市街地一帯

今回で第8回を数え、今年度の花ロードは、10月7日から9日までの3日間、高田中心市街地一帯をエリアとして開催され、市民ら3万3千人で賑わいました。

展示エリア内の市民の協力もあり、約140点の花をモチーフにした秋の彩あふれた作品が沿道を飾り、辻をテーマに数々のイベントが行なわれました。

初日の7日土曜日には北川正BSN上越支社長をはじめ、日本画家の洞谷重里佐・アートディレクターの北川フラム、各氏のゲスト審査員と市・当所関係者及び一般審査員により出展作品が審査され、雁木通りプラザ6階にて表彰式・講評会が行なわれました。



2006花ロード記録集表紙



審査員

▼街なかのコミュニケーション広場
直江津地区の地域住民の交流と地域情報発信の広場として開設されてから5年が経過しました。なお、つ茶屋の店内の壁面にブースを設け、上越地域のお土産や特産品並びに地域で創作活動をしている方の作品も紹介・販売しています。義の塩他100%上越産材料の「直江の津みそ」と義の塩・青海苔使用の「直江の津まんじゅう」、上越産はちみつ「直江の津はちみつ」も販売しております。物産品並びに創作作品の紹介・販売の売店者を募集しております。

すので気軽にスタッフにご連絡下さい。地域住民の交流イベントとして、今年度も6月に「直江の津見聞録と親子はちみつ体験教室」を実施しました。

定期講座としては、洋裁教室・生け花教室・山の幸染め教室をなお、つ茶屋で開講しており、新たに定期的に教室を開いてみたい方や一日だけの講座開催並びに創作作品展示会も募集しておりますので気軽に問い合わせて下さい。くつろいでいただく為に、コーヒーや定食なども提供しておりますので、気軽になお、つ茶屋へお立ち寄り下さい。



直江津の情報や魅力が満載の地域住民交流拠点

お気軽にお立ち寄りください

‘06 どんとやります！
年末謝恩大売出し

直江津商人塾

魅力アップを目指して
商人が勉強中！

直江津の商人たちが、たくさんの皆さまにご利用いただけるように個店の魅力の向上を目指し、毎月勉強会を重ねています。すぐ効果が現れるものや長くかけて現れるものなど、いろいろ取り組んでいきますので応援よろしくお願いします。

商人元気支援塾

上越市の中心商店街を対象として、先進地商店街の視察研修および個店の魅力に狙いを絞った講演会を実施いたしました。

静岡呉服町説明▶

▼長野ばていお大門見学



先進地視察研修
(平成18年2月6日～7日)
中心市街地活性化策定委員会を含む商店街関係者とともに、平成5年以来一店逸品運動を続け、商業者と地権者が商店街の将来を共に考える場「ランドオーナー会議」を開催している先進地・静岡市「呉服町名店街」および空洞化が進む中心市街地を再生に導いたまちづくり組織「長野市「株まちづくり長野」と関連施設を視察に行きました。また、後日改めて長野のタウンマネージャー・服部年明氏を招いて、まちづくり会社に関して勉強会を実施いたしました。

「地域商業経営者」講演会

(平成18年3月20日)

「個店力を高めて売り負けない法」と題して、販売コンサルタントの金田晃氏を迎えて講演会を行いました。消費者の買い控え、大規模ショッピングセンターの攻勢など、厳しい現状をしっかりと理解したうえで、各個店の実態を再認識し、経営改善策の内、特に販促に絞った具体的ノウハウを学びました。

高田本町の駐車場情報を提供いたします

たかだナビ

本町商店街を含む6箇所の駐車場の満空状況や駐車場の位置、料金などの情報が携帯電話やパソコンでみる事ができますので、是非ご覧下さい。

携帯サイト:

<http://www.atpark.ne.jp/jouetsu/>

パソコンサイト:

<http://www.at-park.ne.jp/jouetsu/>



中心商店街での売店者を募集しています

上越中心商店街 空き店舗物件情報

上越TMOでは空き店舗物件情報をインターネットを利用して発信しています。店舗に関する詳しい内容も知ることができますので、ぜひご覧ください。
<http://www.jocci.jp/emshop/>

本町のホットな情報を配信中!!

フリーペーパー 『本町×Style』



希望する個店に対して、中小企業診断士の小松俊樹氏による、5回にわたる経営改善計画の指導を実施しました。

本町商店街の有志でつくる「高田本町スタイルを創る会」では、本町の旬な情報やお得な情報を多くの人に知っていただくことを目的にフリーペーパー（無料情報誌）『本町×Style』を発行しています。今年度からは、RENEW編集部協力のもと長野県と上越周辺

に発行中の情報誌「RENEW」にも掲載されることとなり、より広域的に情報発信ができるようになりました。フリーペーパーの制作については、上越情報ビジネス専門学校の協力を得て学生と店主とのコラボレーションで制作しています。

また、ホームページでも情報を発信していますので、ぜひご覧ください。

<http://honchostyle.com/>

三法改正と住民参加のまちづくり

昨年、都市計画法と中心市街地活性化法が改正されました。改正の背景には、中心商業地の売場面積の低下、来街者の減少、空き店舗、空き地の増加などといった「都市機能の低下」や、居住人口等の減少、病院等の公共公益施設の郊外立地、大規模商業施設の郊外立地などによる「中心市街地の空洞化」により、特に地方においては街の郊外化と中心市街地の疲弊が止まらない現状です。

このため、国では都市計画のインシアチブを重要と考え、地域の判断によるまちづくりを可能とするため「都市計画法の改正」を行ない、郊外の土地利用規制を強化し、郊外開発の抑制を図りました。これにより大規模集客施設について一万㎡超の出店が原則不可となりました。

また、人口減少・少子高齢化社会・行財政の逼迫・環境問題等を考え、まちの機能性と持続性を重視したまちづくりにつなげるため、過去の投資の蓄積（既存ストック）を活用しながら、都市機能の集約促進を目指す「コンパクトなまちづくり」を進める方向が示されたところです。

又一方、商業の活性化に主体が大きかった中心市街地活性化法については、まちづくりという観点に立ち、都市機能を集め、事業活動の促進を図りながら、快適で魅力ある生活環境の形成につなげるため、法を改正し、従来からの土地区画整理・市街地再開発・道路、公園、駐車場等の施設整備の「市街地の整備改善」と「商業活性化の事業」は勿論新たに学校や図書館、診療所、保育所等の「都市

福利施設の整備」と「住宅供給や居住環境向上のための事業」を盛り込み、改正法の基本方針に基づき基本計画を作成することになりました。

現在上越市では、国の認定を目指し、基本計画の見直しを行なっているところです。

更に、中心市街地活性化法の改正では、事業の実施者等からなる多様な主体が参加した中心市街地活性化協議会を立上げ、基本計画への意見や事業等の議論を重ね、地域一体となった取り組みをすることが認定要件となっています。

今後、中心市街地活性化は、国、地方公共団体、民間事業者や地権者、地域住民が各々責務を持ち、国等の「選択と集中」による支援措置を受け、進められることとなります。

編集好機

世の中、人口減少、少子高齢化、環境問題等と併せ、行財政の課題から「コンパクトシティ」という言葉を、よく耳にすることがあります。国も都市の秩序ある整備を図るために、まちづくり3法の改正方針を示し、閣議決定致しました。

街は、人々が生活する上で、必要な機能が集中することで、住みやすい環境が形成され、且つ自然環境面にも優しいといわれます。私たちの街はどうでしょうか。

街の個性を活かし、他の都市にはない特徴を持たせ、多くの方から来ていただけるような街にならないかと思うのは、私だけでしょうか。

北陸新幹線が開業し、訪れていただく人々に、住みたい街だねと言われのように、街が持つ「歴史・文化・風土」を活かし、其処に新しさを取り入れながら、若者や高齢者に住みやすい環境を育てている。そんな街にするために、少しでも意識を変えて、街を見つめ直すことも必要ではないでしょうか。